

# ぼうさい通信 Vol.81



毎月16日は「防災教育啓発の日」

令和6年11月18日発行  
熊本県立湧心館高等学校

## 今月のテーマ 防災訓練の必要性

早速ですが、皆さんは「災害用伝言ダイアル」の番号を覚えていますか？正解は「171」です。覚えていましたか？私たちが日頃から防災を意識するためには、どうすれば良いのでしょうか？いつ発生するか予期できない災害に対してどんな備えが必要か、日頃から考えておかなければなりません。

### ☆防災の日とは？ 9月1日が防災の日になった理由

防災の日とは、「台風や地震などの災害について国民一人ひとりが認識を深め、これに対処する心構えを準備する」ことを目的に、1969年の閣議で制定されたものです。防災の日が9月1日になった理由は、古くから台風が来襲しやすい厄日（二百十日）とされてきたことや、この日に「関東大震災（1923年）」が発生したことが挙げられます。

特に関東大震災は、10万人を超える犠牲者が亡くなった未曾有の（今までに一度もなかった）災害となり、その後の都市防災対策が大きく見直されるきっかけになりました。自然災害の多い日本では、いつ災害に見舞われるかわかりません。いつ襲われても適切な行動ができるよう、「防災に対する認識を改めて見直す日」として、9月1日の防災の日には訓練を実施する自治体や学校、企業・団体が多いのです。

### ☆防災訓練とは？

防災訓練とは、災害が発生した際に迅速かつ適切に行動し、できるだけ未然に被害を防ぐために災害を想定して行う訓練のことです。災害はいつ起こるか分からず、突然の予期せぬ状況に大人でも冷静さを失います。いざという時に慌てずに行動するためには、あらかじめ防災知識やスキルを身につけておくことが大切です。防災訓練を通して、災害発生時にとる行動をしっかりと見直しましょう。

#### ○自助・共助・公助の考え方

災害時は、自分で身を守ると同時に「助け合う」ことが必要です。助け合う関係性は、次の3つに分けられます。

- ・自助（じじょ）：自分自身・家族の身の安全を守ること
- ・共助（きょうじょ）：地域・コミュニティなど周囲の人との助け合い
- ・公助（こうじょ）：公的機関による救助・援助

#### ○防災訓練の必要性

防災訓練は、なぜ必要なのでしょうか？それは、消火方法や応急処置などの防災知識が身につくだけでなく、実際に行動することで記憶に残るため、もしもの時に落ち着いて行動しやすくなるからです。

## 《防災訓練の種類》

### ① 避難誘導訓練

地震や火災などを想定し、安全かつ迅速に避難場所へと参加者を誘導する訓練です。地震の場合は窓ガラスの近くや大きな照明器具の下を避けて通る、火事の場合は出火元にできるだけ近付かないように通るといったように、災害の種類に合わせた避難経路を選ぶなど、実際の状況を具体的に想定した訓練を行います。

### ② 初期消火訓練

火災の発生を想定し、消火器や消火栓の場所や使い方を把握するために行う訓練です。バケツリレーなどを実践する場合もあります。火災の被害を最小限に留めるためには初期消火対応が非常に重要です。消火器の使い方などを学び、誰でもスムーズに消火作業にあたれるようにしておきます。

### ③ 応急救護訓練

応急救護訓練では、AED（自動体外式除細動器）の使い方や、胸骨圧迫や人工呼吸といった心肺蘇生法の手順を学びます。心停止から5分経過すると、およそ半数の傷病者が亡くなってしまいます。応急救護訓練を受けることで、災害時の傷病者を始めとして、いざという時に迅速な救護対応が可能になります。応急救護訓練を実施する際は、正しいやり方を学ぶために地域の消防署の協力を得て行うのが一般的です。

### ④ 救助訓練

救助訓練では、負傷者の救出や搬送の手順をシミュレーションします。大規模な地震や、地すべり・土砂崩れ、大雨や台風による家屋の倒壊では、瓦礫の下に埋もれた負傷者や担架による搬送が必要な負傷者が発生します。いざという時のため、てこの原理を用いた瓦礫の除去、ブルーシートを担架のように使う方法を習得することで、より多くの人命を救うことが可能です。



※上記の他にそれぞれの場所で参加できる訓練として、シェイクアウト訓練があります。シェイクアウト訓練とは、その場でできる防災訓練のことです。あらかじめ決められた日に、事前に参加登録した人が、訓練開始の合図と同時に命を守る3動作（姿勢を低くする・頭からだを守る・揺れがおさまるまでじっとする）を行う訓練のことです。

過去のぼうさい通信を見ることがあります

本校のHPにアクセスしてみましょう。

HP <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/> ぼうさい通信（毎月16日発行）